



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所  
コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 027-385-5800

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	35,061	5.5	3,651	11.5	3,651	10.0	2,565	7.8
2023年3月期第3四半期	33,228	25.9	4,124	63.9	4,055	55.6	2,783	50.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,293百万円 (1.0%) 2023年3月期第3四半期 3,261百万円 (67.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	546.04	
2023年3月期第3四半期	604.02	603.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	55,945	27,207	48.6
2023年3月期	55,098	24,860	45.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 27,207百万円 2023年3月期 24,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		80.00		100.00	180.00
2024年3月期		100.00			
2024年3月期(予想)				100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	9.8	6,000	7.2	5,950	7.2	4,200	4.2	893.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,717,895 株	2023年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	20,564 株	2023年3月期	19,346 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	4,697,945 株	2023年3月期3Q	4,608,128 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
3. 補足情報	
受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高騰、欧米でのインフレや金融引き締め、中国での景気の減速など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

わが国経済におきましては、新型コロナウイルス感染防止のための行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化への動きがみられました。一方で、不安定な国際情勢の中での物価の上昇や、世界的な金融引き締めによる円安の進行もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、中期経営計画「“創” lution 2025 GRIT & Adjust」の目標達成に向け、生産体制の拡充やカスタマーサポート体制の強化など業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は35,061百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は3,651百万円(前年同期比11.5%減)、経常利益は3,651百万円(前年同期比10.0%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,565百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①工作機械

国内市場におきましては、受注はEV関連向けが堅調に推移しているものの、前年度好調であった半導体関連の受注が落ち着いたことや、ロボット向け歯車の需要が低迷したため、前年同期より減少しております。売上につきましては、セラミックス業界向けのロータリー平面研削盤の販売が増加し、前年同期を上回っております。

海外市場におきましては、米国では金利引上げ政策の影響により、中小企業を中心に設備投資へ消極的な姿勢が継続しており、受注、売上ともに前年同期を下回っております。欧州も同様に中東情勢の悪化やウクライナ情勢の長期化など地政学的リスクの高まりからドイツを中心に経済が停滞しており、汎用平面研削盤の販売は増加しているものの、受注、売上ともに前年同期には及びませんでした。中国では景気の減速が影響し、歯車の受注は低迷しておりますが、EV車向けのリチウムイオン電池の需要が拡大しており、大型平面研削盤の販売が好調に推移しております。

以上の結果、売上高は21,068百万円(前年同期比4.5%減)、セグメント利益(営業利益)は625百万円(前年同期比62.5%減)となりました。

#### ②半導体関連装置

半導体市場におきましては、前年度終盤から半導体デバイスの需要低下による在庫調整の影響を受けておりましたが、当第3四半期以降には半導体不況からの回復の兆しが出てきており、メモリやロジック半導体を中心に需要が増加傾向にあります。また、省エネや高効率化に不可欠な次世代パワー半導体や高周波通信デバイス向けの半導体などでは旺盛な需要が継続しております。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシャーやグラインダーの拡販に向けて、ウェーハ業界向けの新機種の開発やサービス拠点の拡充などの諸施策を進めてまいりました。その結果、売上につきましては、豊富な受注残の生産が進み、国内、東アジア、欧州向けにウェーハ生産用のファイナルポリッシャーやパワー半導体向けのグラインダーの販売があり、前年同期を上回っております。受注につきましては、国内、東アジアの取引先からパワー半導体向けポリッシャーなどの受注を獲得しましたが、半導体の設備投資需要の本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、売上高は13,992百万円(前年同期比25.2%増)、セグメント利益(営業利益)は3,981百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して846百万円増加し、55,945百万円となりました。主な要因は、有価証券が4,000百万円減少した一方で、現金及び預金が843百万円、棚卸資産が1,525百万円、有形固定資産が1,869百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,501百万円減少し、28,737百万円となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が2,276百万円増加した一方で、短期借入金が339百万円、未払法人税等が350百万円、契約負債が2,838百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して2,347百万円増加し、27,207百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,565百万円、配当金の支払い939百万円により1,625百万円増加したこと、及び為替換算調整勘定が710百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.1%から48.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,651	9,495
受取手形、売掛金及び契約資産	8,854	9,163
有価証券	4,000	—
商品及び製品	5,725	6,113
仕掛品	8,207	9,068
原材料及び貯蔵品	4,313	4,590
その他	652	675
貸倒引当金	△159	△115
流動資産合計	40,245	38,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,949	5,654
機械装置及び運搬具(純額)	2,991	4,390
その他(純額)	4,794	4,559
有形固定資産合計	12,735	14,604
無形固定資産	277	405
投資その他の資産		
投資有価証券	258	455
退職給付に係る資産	888	933
その他	710	577
貸倒引当金	△16	△23
投資その他の資産合計	1,840	1,943
固定資産合計	14,853	16,954
資産合計	55,098	55,945
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,662	3,452
電子記録債務	3,402	4,051
短期借入金	4,689	4,349
1年内償還予定の社債	12	12
1年内返済予定の長期借入金	467	206
未払法人税等	1,127	777
契約負債	11,383	8,545
賞与引当金	531	195
製品保証引当金	49	46
その他	2,911	2,445
流動負債合計	28,237	24,082
固定負債		
社債	12	6
長期借入金	197	2,734
退職給付に係る負債	1,032	1,128
資産除去債務	119	121
その他	640	665
固定負債合計	2,001	4,655
負債合計	30,238	28,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
資本剰余金	138	138
利益剰余金	18,619	20,245
自己株式	△83	△90
株主資本合計	23,555	25,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	23
為替換算調整勘定	1,169	1,880
退職給付に係る調整累計額	130	129
その他の包括利益累計額合計	1,304	2,033
純資産合計	24,860	27,207
負債純資産合計	55,098	55,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	33,228	35,061
売上原価	22,605	24,475
売上総利益	10,623	10,585
販売費及び一般管理費	6,499	6,934
営業利益	4,124	3,651
営業外収益		
受取利息	14	65
受取配当金	3	3
助成金収入	6	4
物品売却益	53	58
その他	33	33
営業外収益合計	111	166
営業外費用		
支払利息	66	86
為替差損	34	52
支払手数料	17	12
控除対象外消費税等	25	0
その他	35	14
営業外費用合計	179	166
経常利益	4,055	3,651
特別利益		
固定資産売却益	2	3
負ののれん発生益	—	405
特別利益合計	2	408
特別損失		
固定資産処分損	16	18
特別損失合計	16	18
税金等調整前四半期純利益	4,041	4,041
法人税等	1,257	1,476
四半期純利益	2,783	2,565
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,783	2,565

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,783	2,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	18
為替換算調整勘定	497	710
退職給付に係る調整額	△20	△0
その他の包括利益合計	478	728
四半期包括利益	3,261	3,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,261	3,293

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,050	11,178	33,228	—	33,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,050	11,178	33,228	—	33,228
セグメント利益	1,667	3,279	4,947	△822	4,124

(注) 1. セグメント利益の調整額△822百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,068	13,992	35,061	—	35,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,068	13,992	35,061	—	35,061
セグメント利益	625	3,981	4,606	△955	3,651

(注) 1. セグメント利益の調整額△955百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

大和工機株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事項による負ののれん発生益の計上額は405百万円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

## 3. 補足情報

受注及び販売の状況

## (1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	19,702	79.5	17,330	86.1
半導体関連装置	4,551	28.3	28,443	72.7
合計	24,254	59.4	45,774	77.3

## (2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	21,068	95.5
半導体関連装置	13,992	125.2
合計	35,061	105.5